

第5回 くれよん組の報告

【日 時】平成21年3月7日（土）午後2時から午後4時

【場 所】市役所 本館6階 604会議室

【内 容】（1）ハード面のバリアフリーについて
（2）今年度会議の振り返り
（3）その他

【出席者】メンバー18人
ほか 職員、アドバイザー

1. ハード面のバリアフリーについて

（1）要望書（案）について

【本日の議題】

これまでの話し合いをうけて、運営委員が中心となりまとめた要望書（案）をもとに、要望項目に補足・追加することはないか、追加で入れたい項目はあるか等について、話し合いました。

なお、時間の都合上、第5回の会議内容をふまえ、後日運営委員が要望書を完成させ、提出することとなりました。

●要望書（案）の内容について●

提案先	内容	備考
近鉄 （電車）	1.電車が到着することを知らせるための赤色灯の設置。 2.車いす利用者や視覚障害者も含め、誰もが容易に使える券売機の開発の検討。	
JR 西日本	3.現場での実態に即した対応を駅員に習得してもらえよう、職員研修に障害当事者も加えて実施する等、研修内容の充実。 4.転落防止柵の設置についての検討及び、点字ブロック設置、点字ブロック上の障害物除去。	※JRには、車いす利用者の乗車について、より迅速な対応を求める内容を盛り込む
近鉄バス	1.バス用の車止めではなく、車いす用の固定ベルトを用いた固定及び、シートベルトの装着の徹底。	

	<p>2.全ての車種に関する研修をおこない、車種ごとの操作の違いの把握を徹底することまた、障害当事者を研修に招く等、実際の現場での対応を学べるように研修を充実させること。</p> <p>3.より多くのノンステップバス導入を図ること及び停留所のバリアフリー化を計画的に進めていくこと。</p>	
--	---	--

●意見●

【鉄道について】

- ・ 近鉄や地下鉄は車いすでも通れる広くて自動の改札口があるのに、JR の改札は狭い上に手動で操作するものであるため、他の乗客への対応中等は職員にすぐ対応してもらえず不便です。
- ・ 車いすに乗っている等明らかに障害者と分かって、障害者手帳の提示を求められることがあります。提示を求められた場合は快く応じることが障害者側のマナーです。
- ・ 券売機については音声案内とテンキーが備わっているものもあり、視覚障害のある人も利用できるようになっています。しかし、せっかく設備があっても利用者が存在を知らなければ使うことができません。設置者が周知に努めるとともに、利用者がネットワークを使って利用者同士で情報を共有する努力が必要です。
- ・ エレベーターが設置されてもサイズが小さい、券売機の蹴りこみが浅くて使えない等、これまで意見を述べても届かなかったことについても、続けて要望していくことが大切だと思います。券売機の使いやすさ等は利用する当事者でないと分からない面がありますので、具体的に要望することが必要です。エレベーターについても大きなサイズが私鉄につけられるのは難しいことですが、必要であると言いつけることが大切です。

【バスについて】

- ・ バスに乗ったとき、運転手さんが車いすを固定する金具を出してくれますが、不慣れなため時間がかかってしまい、他の乗客を待たせるのが心苦しいです。社会福祉協議会のリフトバスで用いられている固定金具はとてもスムーズに装着できます。取り付けやすい金具を装備してほしいです。
- ・ スロープが出せない停留所についてバリアフリー化を求める場合は、具体的な停留所名を挙げたほうが良いです。

●アドバイザーからの要望書作成ポイント●

【要望項目について】

- ・ バス内での車いす固定における他の乗客への配慮として、運転手から乗客へ時間がかかることに了承をもとめる旨をアドバイスしてくれるよう要望してはどうでしょう。

【要望書作成について】

- ・ ハード面整備について要望する場合は、八尾市内の駅等について限定し、具体的に記載したほうがよいでしょう。
- ・ 基本構想策定後も解決していない問題を挙げていけばよいでしょう。

2. 今年度会議の振り返り

今年度の会議の感想を述べ、活動を振り返りました。

●主な感想●

- ・ あっという間でした。続けていきたいです。
- ・ 普段とは違う場で意見を言いたいです。
- ・ 先日、老人大学で研修があり、道路について学びました。先行するドイツでは歩行者を中心に考えるため、歩道にあわせて車道が作られるようです
- ・ 一年間ありがとうございました。初めての一年でした。当事者が意見を言わないといけないとすごく思いました。
- ・ 障害者が町づくりをしていけるよう参加したいです。
- ・ 高安駅タウンウォッチングが印象に残っています。
- ・ 初めての参加でした。バリアフリーには関心があるのでこれからも続けたいです。
- ・ 昨年秋から車いす生活になりました。車椅子になって初めて車いすのことがわかりました。車道と歩道の段差や道路のひび割れ等、細かいところでも言わなければと感じました。
- ・ ハード面のバリアフリーを話し合って要望書まで作成できました。当事者の生の声を盛り込むのはどうすればよいのか難しいところです。新年度はソフト面になりますが、積み重ねていけば、ユニバーサルデザインの町づくりになっていくと思います。
- ・ 一年が長いようで短いものでしたが、要望に関しては提出することで少しでも変化すればよいのかと思います。
- ・ 一年間お疲れ様でした。刺激のある会議でした。自分の生活する町、仕事をする町をどうするか考えることでより良い意見がでてきます。またそのような経験が大切だと思います。
- ・ 参加して6年になります。職場で障害に関する研修などに呼ばれます。たいてい講師を招いて学術的な話をされます。それを各自職場に持ち帰り共有しないさいと言われます。でも理解が難しいです。現場で対応するには当事者をよく知っている人がよいと思います。関わりのない人、接点のない人に理解をしてもらうのは本当に難しいと思います。
- ・ 障害者フォーラムは大成功だったと思います。

3. その他

(2) 21年度くれよん組について

21年度の会議は、ソフト面のバリアフリーについて議論します。なお、参加者募集は市政だより5月（4月20日）号でおこないます。